

佐倉市ボランティア連絡協議会 令和7年度活動報告

第1回運営委員会(総会)4月29日 志津コミュニティセンター



1部：R6 活動・決算報告/R7 予算案
2部：講演会
佐倉市社会福祉協議会事務局長 深沢孝志氏より「今求められるボランティア活動とは」と題して、福祉教育や災害ボランティア活動などのエピソードを交えながらお話をいただきました。

個人ボランティアのつどい11月15日 佐倉市社会福祉センター



講演会では詐欺の手口と対策について学び、交流会では各活動に関する情報交換を行い、課題解決へ向けた前向きな議論が深まりました。参加者一人ひとりが積極的に意見を出し合い、より深い交流と建設的な話し合いが展開され、時間が足りないほど充実した会となりました。

佐倉市障害者作品展 12月11~14日 「ふれあいギャラリー」佐倉市立美術館



佐倉市主催
実行委員として参加協力(展示手伝い)
作者の皆さんが、日常で感じたことや日々の想いを力強く表現され、来場者に感動と新たな視点を感じさせる作品が展示されました。作品展を通じて障がいへの理解が深まり、作者の創作意欲や生きがいにつながるよう、より多くの方にご覧いただきたいと感じました。

バス研修会 7月10日 建設技術展示館(松戸)



快晴の中、建設技術展示館で作業車の見学や体験、車椅子移乗や白杖歩行を通して段差や点字ブロックを体感し、バリアフリーの必要性を再認識しました。災害時に活躍する作業車への理解と感謝が深まり、昼食ではゆったりとした時間を過ごし交流の輪も広がりました。

「市民活動発表 2025」11月30日 佐倉市中央公民館



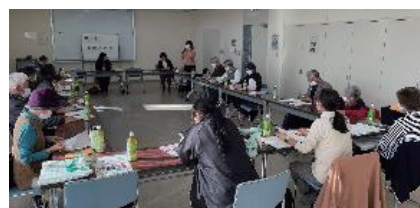
市民公益活動サポートセンター主催
<テーマ>～伝える・広がる・私たちの活動～に参加。多くの来場者が体験ブースをめぐり賑わいました。V連では、車椅子・白杖・ピクトグラム体験ブースを実施し、参加者からは「体験することで気づくことがある」という声が寄せられました。

印旛地区ボランティア交流会 10月10日 「末廣農場」交流スペース(富里)



近隣V連6市町(成田/八街/富里/栄/酒々井/佐倉)の交流会に参加。テーマに沿って意見交換が行われ「会員を増やすには?」という問いに対し、ある団体からは「発想を変え“楽しむこと”を中心に活動したら仲間が増えた」との報告がありました。楽しさこそ継続の力ですね!!

第2回運営委員会 12月7日 志津コミュニティセンター



今年前半の活動報告に続き、第2部で「デジタル・リテラシー/スマホの安全な使い方」を受講。デジタル技術を理解し、安全に活用する力を身につけるとともに、スマホを正しく使う大切さを学びました。ロック未設定は個人情報流出の危険があるなど、気づきの多い内容でした。

第44回ボランティアのつどい



2026年2月11日(水・祝)
10時~13時半(受付 9時30分~)
於: 志津コミュニティセンター 大ホール
主催 佐倉市ボランティア連絡協議会
共催 佐倉市社会福祉協議会 後援 佐倉市
お問い合わせ: 佐倉市ボランティアセンター内
TEL 043-484-6198 FAX 043-486-2518

「つながろうボランティア!」 世代をこえて未来へ!

日時: 2026年2月11日(水・祝)
10時~13時30分
会場: 志津コミュニティセンター
内容

- ① ボランティア活動の発表
☆順天堂大学
☆県立佐倉西高等学校
☆臼井地区社会福祉協議会
コーディネーター: 松山毅 前任准教授
(順天堂大学 スポーツ健康科学部)
- ② グループトーク
昼食(チキンカレー)
- ③ みんなでからだを動かそう!!

編集後記

春の訪れが待ち遠しい季節。古今を問わず桜を慕う心は皆同じようで、遠い昔、西行法師が愛した白く可憐な山桜は、900年の時を経て今もなお私達を見守り続けているようです。この桜と共に、私達も、未来を生きる子ども達を明るく照らし見守り続けていきたいですね。



ボランティア情報紙

はらっぱ

第52号 2026年2月3日発行

編集・発行
佐倉市ボランティア連絡協議会(V連)
はらっぱ編集委員会
〒285-0013 佐倉市海隣寺町87
佐倉市ボランティアセンター内
TEL 043-484-6198 FAX 043-486-2518



作画・大橋カズミ

「V連」って知っている?

佐倉市ボランティア連絡協議会(V連)は、佐倉市社会福祉協議会にボランティア登録している団体や個人の中で、V連の趣旨に賛同した団体・個人ボランティアで運営する組織です。会員同士の横のつながりを大切に、様々な行事を通して交流や情報交換をしています。1つの団体、一人のボランティアではできないことも、互いに連携することで新たな活動の幅を広げています。ぜひ一緒に活動しましょう。



V連ホームページ



地域で育てよう 子ども達の未来



佐倉小学校ガードボランティア「ひまわり会」

～見守り活動の始まりと取り組み～

佐倉小学校でのガードボランティアを始めたキッカケは、他校における不審者等の大きな事件（平成 13 年 6 月 8 日児童殺傷事件）があった事です。教育委員会から「地域力を活用した巡視」の綿密化が示され、地域で子どもを守る取り組みが求められました。佐倉小学校では平成 16 年 5 月より市民カレッジ生(40 名)が交代で校内巡視を始めました。メンバーの大半が佐倉小学校区外でしたので 1 年後には 4 名になってしまいガード体制が危ぶまれる状況となりました。



～地域との連携と見守り体制の強化～

佐倉小学校区域の住民に募集を行い、現在は 19 名で佐倉小学校へ通学する子ども達の登下校を 9 か所で見守っています。ひまわり会の会員は高齢者中心ですが「地域の子ども達を温かく見守り、触れ合ってください方」をいつでも募集歓迎します。

今のところ大きな事故、事件も無く子ども達は登下校をしており、朝の挨拶よりも帰りの方が元気に「さようなら」と挨拶してくれます。

学校内に「ひまわり会」の部屋があり、年 4 回の定例会を開催しています。校長先生・教頭先生・PTA の役員の方々と共に、登下校の様子や危険箇所を話し合い改善につなげております。また、佐倉市教育委員会主催のアイアイプロジェクトフォーラムにも参加し、活動の質を高め地域との連携を深めています。

～子ども達との交流と今後の展望～

学校からは、運動会などの行事に招待いただいたり、2 月には「ひまわり会」の皆に感謝集会を開催して下さいます。子ども達から心のこもったお手紙や手づくりの品を頂戴し活動の励みになっています。

この温かい気持ちに応えるべく「ひまわり会」としても子ども達がこれからも元気に登下校できるよう見守りを続けていきたいと思ひます。

随時会員募集中です！



※アイアイプロジェクト：地域全体で子ども達を育てる環境を充実させることを目的（eye目→安全確保、愛heart→子ども達と地域の皆さんの心の通い合い）

6 月 13 日「ひまわり会」定例会に参加しました！

日頃より活動に参加されている方達のお話を聞いて、毎日の活動は大変だなと感じました。毎日活動する登下校通学路で得る情報が、子ども達を守る事につながる大切な仕組みとしての存在意義を感じました。実際に朝早くから活動したり、猛暑の中でもシニアの方達が体調を考慮しながら、やりがいを持って行える地域型の良い活動であり、今後も継承して行ってほしいと思ひます。

「クルクルキッズカフェ（こども食堂）」 吉野 記

クルクルキッズカフェ(こども食堂)



代表の吉野さん

～子ども食堂を始めたキッカケ～

カフェの経営は美味しい食事と心地よい雰囲気をお客様に提供するのが役割ですが、それと同時に地域の役割があると感じています。やはり地域の子ども達、そして子ども達の親御さんに何か支援が出来たらという思いで「こども食堂」を始めました。

毎日繰り返しの食事の支度は大変です。「たまには子ども達と一緒にカフェで食事をしよう！」「多少、子どもが騒いでも大丈夫」そんな安心してご飯を食べられる場所を提供できたらと思ひました。



～古民家を改装した新しい拠点～

KuRuKuRuCAFE は、佐倉市のランドマークである風車の近くの古民家を自分達で改装。令和 5 年 11 月オープンしました。リユース、リサイクル、循環をテーマに、いろいろなグラスを欲しい人にあげる活動や地域の規格外野菜を使った料理を提供するなど、地域に根ざした活動を行っております。

毎月のイベントとして、美味しい物を食べながら語らう会「焚き火会」（第 4 土曜日）によるコミュニティの運営とともに、「クルクルキッズカフェ」（第 2 土曜日）を運営し、近隣家族の皆さまにご利用いただいております。

～食事作りの負担を少しでも軽く～

「こども食堂」を始めて気づいたことは、比較的子どもの多いご家庭の方が参加されているように感じたことです。子どもが多ければ、毎回食事のたびに大変な労力がかかります。月に一度ですが、お母さんが食事を作らずに、お腹いっぱいご飯が食べられれば負担も減ります。少しだけですが「クルクルキッズカフェ」に協力出来たら嬉しいです。

～地域の優しさに励まされて～

また、ボランティアとしてお手伝い下さる方や、食材のご提供を申し出て頂ける方が沢山いらっしゃる事に心から感謝しております。募金箱にも多くの方が支援してくださり、地域の皆さまの温かさに日々励まされています。



6 月 14 日 「クルクルキッズカフェ（こども食堂）」に行ってきました！

右に山林、左に田んぼと田園風景の中にたたずむ古民家カフェに到着。改装したとは思えないぐらいの本格的で素敵な空間で、「こども食堂が月一度だけだなんてもったいない」と思ひました。約 40 席ある店内には、開始時間になると子ども達や保護者の方で満席になりました。皆さん和気あいあいと楽しそうにお食事をされていました。私達もカレー、春巻き、サラダ、飲み物を美味しくいただきました。スタッフの皆さんもとても感じよく接してくださり嬉しく思ひました。クルクルキッズカフェは誰でも気軽に立ち寄れる場所となっていて、子どもや保護者にとっても、人と人の良いつながりの場となっているのだと思ひます。素敵な場所で心とむ時間を過ごさせていただきました事に感謝です。

佐倉小学校ガードボランティア「ひまわり会」大木 記

ピクトグラム(内閣府の「障がいに関するマーク」から抜粋)

単純化された図柄で特定の意味を表現する記号です。言葉を使わずに情報を伝えられるため、言語の壁を越えたコミュニケーションツールとして活用されています。



聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです。相手が「聞こえない・聞こえにくい」ことを理解し、コミュニケーションの方法等への配慮（口元を見せゆくり、はっきり話す・筆談で対応する・呼ぶときは傍へ来て合図する・手話や身振りで表すなど）をお願いします。



障害者のための国際シンボルマーク
障害者が利用できる建物、施設であることを明確に表すための世界共通のシンボルマークです。(注：駐車禁止を免れる、または障害者専用駐車場が優先的に利用できるなどの証明にはなりません)



「白杖 SOS シグナル」普及啓発シンボルマーク
白杖を頭上 50cm 程度に掲げて SOS のシグナルを示している視覚に障害のある人を見かけたら、進んで声をかけて支援しようというシンボルマークです。進んで声をかけ、困っていることなどを聞き、サポートをお願いします。